

Cisco 800 シリーズ ルータの ROMmon 回復手順

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[ROMmon 回復手順](#)

[フラッシュ内に有効な Cisco IOS ソフトウェア イメージがない場合](#)

[フラッシュ内に有効な Cisco IOS ソフトウェア イメージがある場合](#)

[関連情報](#)

[はじめに](#)

このページでは、TinyRom モードになった (boot# プロンプトを表示している) Cisco 800 シリーズ ルータの回復方法について説明します。

[前提条件](#)

[要件](#)

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

[使用するコンポーネント](#)

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

[ROMmon 回復手順](#)

最初にまだフラッシュするで Cisco 有効な IOS® ソフトウェア イメージがあるかどうか、判別して下さい。

list コマンドを使用してフラッシュ内に格納されたファイルを表示します。

```
boot#
boot# list
Status      Size      Dev      Name
-----
-----      48K      flash    TinyROM-1.0(2)
-----      48K      flash    TinyROM-1.0(3)
--Dr-x      2600K     flash    c800-y6-mw.120-5.T
---r-x      2863K     flash    c800-y6-mw.121-5
!--- Here it is 5184K free 8192K total boot#
```

イメージは、ステータスが「**-----r-x**」になっていれば有効です。

「x」が表示されない場合は、イメージが破損している可能性があるため、イメージを削除する必要があります。 **delete [filename]** コマンドを使用してそのイメージを削除済みとしてマークしてから、**erase** コマンドを使用して削除済みとしてマークされたすべてのファイルを効率的に削除します。

「D」が表示された場合は、そのイメージが削除済みとしてマークされています。 **undelete [filename]** コマンドを使用すると、削除したイメージを復元できます。

注: 特定のファイルを 8 回削除すると、そのファイルは完全に削除され、そのファイル名に対して **undelete [filename]** コマンドを使用しても、ファイルは復元されません。

次のセクションでは、このシナリオについて説明します。

- [フラッシュに有効な Cisco IOS ソフトウェア イメージがない場合](#)
- [フラッシュに有効な Cisco IOS ソフトウェア イメージがある場合](#)

フラッシュ内に有効な Cisco IOS ソフトウェア イメージがない場合

フラッシュに有効な Cisco IOS ソフトウェア イメージがない場合、4 種類の選択肢があります。

- [TFTP サーバからブートする。](#) この方法では、ルータをブートすることはできますが、フラッシュ内に有効な Cisco IOS ソフトウェア イメージがインストールされません。
- [TFTP 経由でイメージをダウンロードする。](#)
- [Xmodem を使用してコンソール ポート経由でイメージをダウンロードする。](#)
- [Xmodem を使用せずにコンソール ポート経由でイメージをダウンロードする。](#)

TFTP サーバからブートした場合、フラッシュ内に Cisco IOS ソフトウェア イメージがなくてもルータは動作します。

注: ルータが TFTP サーバに接続されずにリブートされた場合は、再び TinyROM モードになります。

イメージをダウンロードしても、まだブートが必要です。 そのためには、「[フラッシュに有効な Cisco IOS ソフトウェア イメージがある場合](#)」のセクションに記載されている手順に従います。

フラッシュ内に有効な Cisco IOS ソフトウェア イメージがある場合

フラッシュに有効な Cisco IOS ソフトウェア イメージがある場合は、`boot-action`、`file-name`、`ios-conf` の各変数を、次のように適切な値に設定するだけです。

```
boot# set boot-action=?
-----
set boot-action      ={flash|tftp|none}

Default boot action to take on power up:
flash => run file-name from flash.
tftp  => tftp file-name (script or image) into RAM, then run it.
none  => enter CLI and wait for commands from user
-----
boot# set boot-action=flash
boot# set file-name=c800-y6-mw.121-5
!--- Or, whatever is your valid Cisco IOS Software image filename. boot# set ios-conf=0x2102
```

新しい値を保存し、`boot` コマンドを使用してルータをブートします。

```
boot# save
save: succeeded (0 seconds).
boot#
boot# boot
```

```
Booting "c800-y6-mw.121-5" ...,
      Restricted Rights Legend
```

Use, duplication, or disclosure by the Government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c) of the Commercial Computer Software - Restricted Rights clause at FAR sec. 52.227-19 and subparagraph (c) (1) (ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS sec. 252.227-7013.

cisco Systems, Inc.
170 West Tasman Drive
San Jose, California 95134-1706

関連情報

- [その他のルータ問題のテクニカル チップ](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)